

シグマ研究委員会

昭和57年度 第4回 運営委員会議事録

日 時 昭和57年10月21日(木) 13:30~17:30
場 所 原研東海研 研2-335号室
出 席 者 原田(委員長, 原研)
白方(動燃), 梶山(東北大), 中沢(東大炉), 中嶋(法大),
山本(FBEC), 松浦, 田中, 五十嵐, 菊池(原研)
オブザーバ: 川合(NAIG), 松本, 浅見(原研)

配布資料

1. 前回(57.9.3)議事録(案)
2. 57年度旅費使用状況
3. 第23回 NEANDC 会合概要
4. Action List for the 23rd Meeting of NEANDC
5. Level Density Meeting
6. 1982年核データ研究会プログラム
7. 第21回原子力総合シンポジウム・プログラム第2次試案
8. FP核データ評価作業

議 事

1. 前回議事録確認
資料1により確認を行った。
2. 事務局報告
 - (1) 旅費使用状況: 資料2により, 9月末までの各WG毎の使用状況について報告があった。本年度から, JENDL-3データの評価作業が始まったこと, WGの新設があったこと等で旅費は前年度に比べかなり苦しい状況にあるとの説明があった。
 - (2) 研究会出欠中間報告: 出席予定者の概要について報告があった。
3. NEANDC第23回会合報告

五十嵐氏から、9月27日～10月1日にチョークリバーで行われた第23回 NEANDC 会合について、資料3を用いて報告があった。また Action List (資料4)も紹介された。その中で、次回の会合を日本で行う可能性について3月までに返事をする必要のあることが説明された。

4. NEACRP 第25回会合報告

白方氏から、NEACRP 第25回会合(9月13-17日、カールスルーエ)の際に議論のあった High Priority Request List についてコメントがあった。測定の可能性について NEANDC からの報告を受け、次回につめを行う。

5. 諮問・調整委員会第1回会合報告

梶山氏から、8月30日に行われた第1回会合の概要及び今後の予定等について報告が行われた。前回の運営委では梶山氏欠席のため、会合の概要について仮の報告が行われていたが、今回正式に報告された。その中で、JENDL-3作成上の問題、広報活動、世代交代等について自由討議が行われ、JEF についての対応、国際協力のシナリオ作り、レポートの出し方等について多くの意見が出されたとの説明があった。

6. IAEA 主催レベル密度諮問家会議

原田氏から、来年4月11日～19日に行われるレベル密度諮問家会議のプログラムについて資料5により説明があった。また、原田氏がこの会合のプログラム委員になっていることが報告された。

7. Antwerp 会議出席者報告

Antwerp 会議に出席した梶山氏、菊池氏、中沢氏から、会議の印象・トピックス等について説明があった。

8. 核種生成量評価WG 会合報告

松浦氏から、9月28日に行われた第1回会合の様子について説明があった。現在使用している核データは ENDF/B-N が大部分であるが JENDL も使うようにすることにした。照射データについては、入手可能なものについて解析を行い、それをもとに新しいデータを入手するように働きかける等の説明があった。

9. JEF-SCG 報告

菊池氏から、9月8日に行われた Joint Evaluated File Project の Scientific Co-ordinating Group の第2回会合の概要について説明があった。詳しくは、既に配布してある Summary Record を読んで欲しいとのこ

とであった。

1 0. JENDL-2 FP ファイル作成の現状

川合氏から資料8を用いて、JENDL-2のFPファイルの作成作業の進行状況及び今後の予定等について説明があった。公開は来年の半ば以降になるとの説明に対し、JENDL-2の一般ファイルと公開の時期が大巾にずれるのは良くないので完成時期をWGで再検討して欲しいとの要請があった。

1 1. 原子力総合シンポジウム

梶山氏からプログラムの第2次試案(資料7)の説明があり討議を行った。医学用核データについては別のルートから採り上げられたこと、シグマ委としては廃炉の核データの問題を提案しようとしていた等の話があった。

1 2. 研究会の準備状況

事務局から、プログラムの最終案(資料6)及び準備状況について報告があった。また、プログラム委は実行委員会に切り替えて準備作業を進めることが提案され了承された。実行委には原研外からは村田氏のみが加わり、他はプログラム委の原研委員がすべて加わることにした。

1 3. JENDL-2の進行状況

浅見氏から、JENDL-2のファイル化作業の現状について報告があり、11月5日のファイル作成WG会合でJENDL-2のまとめ方について討議を行い、11月中にはファイル化作業を完了させる予定であるとの説明があった。

1 4. トリウム国際会議

梶山氏からトリウム燃料炉に関する日米セミナー(10月18-22日、奈良)で行われた講演の内から2-3の話題について報告があった。このセミナーは原研の核データ関係者への招待がなく閉鎖的であったと指摘する意見が多く出た。

1 5. 物理学会での核データのシンポジウム

10月1日の物理学会(北大)で行われた原子核理論・実験シンポジウム「核データ 活動の現状とその利用」の概要について原田氏から説明があった。

1 6. 学会特別会合

10月10日の原子力学会(神戸商船大)で行われた核データ・炉物理合同特別会合の反省点について梶山氏から説明があった。

次回 12月7日(火) 13:30より原研本部(東京)で行う予定。